

変更契約の調書

工 事 名	令和2年災板堰頭首工災害復旧工事
当初	
施 工 場 所	南陽市 宮内 地内
請 負 業 社 名	株式会社 松田組
工 事 種 別	土木一式
工 事 概 要	施工延長 L=56.75m 土工：N=1式 護岸工：L=35.5m 護床ブロック工（3t）：N=188個（新規N=85個、既存利用N=103個） 土砂撤去工：L=58m（水路）V=13m ³ 仮設工：N=1式
契 約 金 額	25,300,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）
工 期	着工 令和2年12月28日 完成 令和3年3月26日

第1回変更

変 更 年 月 日	令和3年3月23日
変更金額（変更後）	25,300,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）
工 期（履 行 期 間）	完成 令和3年7月30日
変 更 理 由	工期変更について 当初の計画では年度内工事を予定していたが、県との災害復旧事業計画の変更により不測の日数を要したため、工事期間を十分確保できなくなったことから工期を延長して対応したい。

第2回変更

変 更 年 月 日	令和3年7月21日
変更金額（変更後）	48,998,400 円（消費税及び地方消費税を含む。）
工 期（履 行 期 間）	完成 令和3年7月30日

変 更 理 由

1 遮水工について

当該農業用施設（頭首工）において、遮水工については、工事実施時の詳細検討による計画変更で対応することとなっており、工事実施に伴う詳細検討の結果、新設部において護床ブロック設置による浸透を防ぐため、河川砂防技術基準により根入れ長は最低 2 m 程度が必要であることから、浸透の抑制及びパイピング防止による堰体の安全性確保のため、下記のとおり設計内容を変更して実施したい。

	当 初	変 更
・技術管理費（土質調査）	—	→ 1 業務
・遮水工鋼矢板（0.9m×4.0m）	—	→ L=18.3m（20枚）

2 指定仮設工について

仮設工について、道路管理者及び河川管理者との協議の結果、下記のとおり設計内容を変更して実施したい。

- ・道路改良工事（市道蒲生田関口線）による進入路の変更（上流へ位置変更）
- ・出水期間の仮締切の変更
- ・ポンプ取水の追加（仮設電源）

	当 初	変 更
仮設道路工		
工事用道路補修工	L=40.0m	→ —
斜路	L=25.0m（流用土）	→ L=55.0m（購入土）
整地工	L=35.0m（流用土）	→ L=110.0m （一部購入土）
工事用道路	L=10.0m（敷砂利）	→ L=51.0m（敷鉄板）
仮設ヒューム管 φ 1200mm	L=12.15m	→ φ 800mm L=4.0m×14本
大型土嚢仮締切	N=132袋	→ N=481袋
仮設用切回し掘削	L=45.0m	→ L=48.0m
仮設ポンプ（用水用）	—	→ N=1基
仮導水路	—	→ L=33.0m

3 その他、現地に適合するよう軽微な変更を実施したい。